

事前評価個表

整理番号	4
------	---

地域（地区）名	おおつち け せんがわ 大槌・気仙川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岩手県	対象市町村	おおふなど 大船渡市ほか4市町
事業実施期間	R7年度～R11年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	本地区は、岩手県の沿岸南部に位置しており、東は太平洋、南は宮城県に接する3市2町を包括する。 本地区の森林面積は132千ha（森林率86%）、対象民有林は103千ha（森林全体の78%）、うち人工林は50千ha（人工林率49%）となっている。 人工林の齢級構成は、10～14 齢級が全体の67%を占めており、森林資源は成熟しつつある一方で、間伐が必要な4～10 齢級の森林が33%を占めており、健全な森林を育成していく上でも間伐等の森林整備が必要となっている。 また、二酸化炭素の吸収・固定などの森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、2050カーボンニュートラルの実現に向け、再造林や搬出間伐等の森林整備を促進する必要がある。 このため、大槌・気仙川地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業体等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。 具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な林道の整備と再造林や間伐等の森林整備を一体的かつ計画的に実施する。
事業内容・事業費	森林整備：2,348ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等 路網整備：5,136m 林道開設 総事業費：2,305,707千円（税抜き 2,096,097千円）
費用便益分析結果	$B/C = 4.47$ （総便益（B）＝14,472,319千円、総費用（C）＝3,240,104千円）
評価結果	必要性：本地区は、間伐が必要な齢級の森林が約3割を占めており、森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには間伐等の森林施業を適切に行う必要がある。また、集約化を行い計画的な森林施業による林業採算性を確保する必要があることから、事業の必要性が認められる。 効率性：費用便益分析から十分な効率性が認められるとともに、森林施業の集約化や路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。 有効性：森林の有する公益的機能の持続的な発揮のための森林整備及び路網整備を実施する事業であり、水源涵養^{かん}や県土保全等の機能の確保が期待されることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名： 岩手県

地域（地区）名： 大槌・気仙川

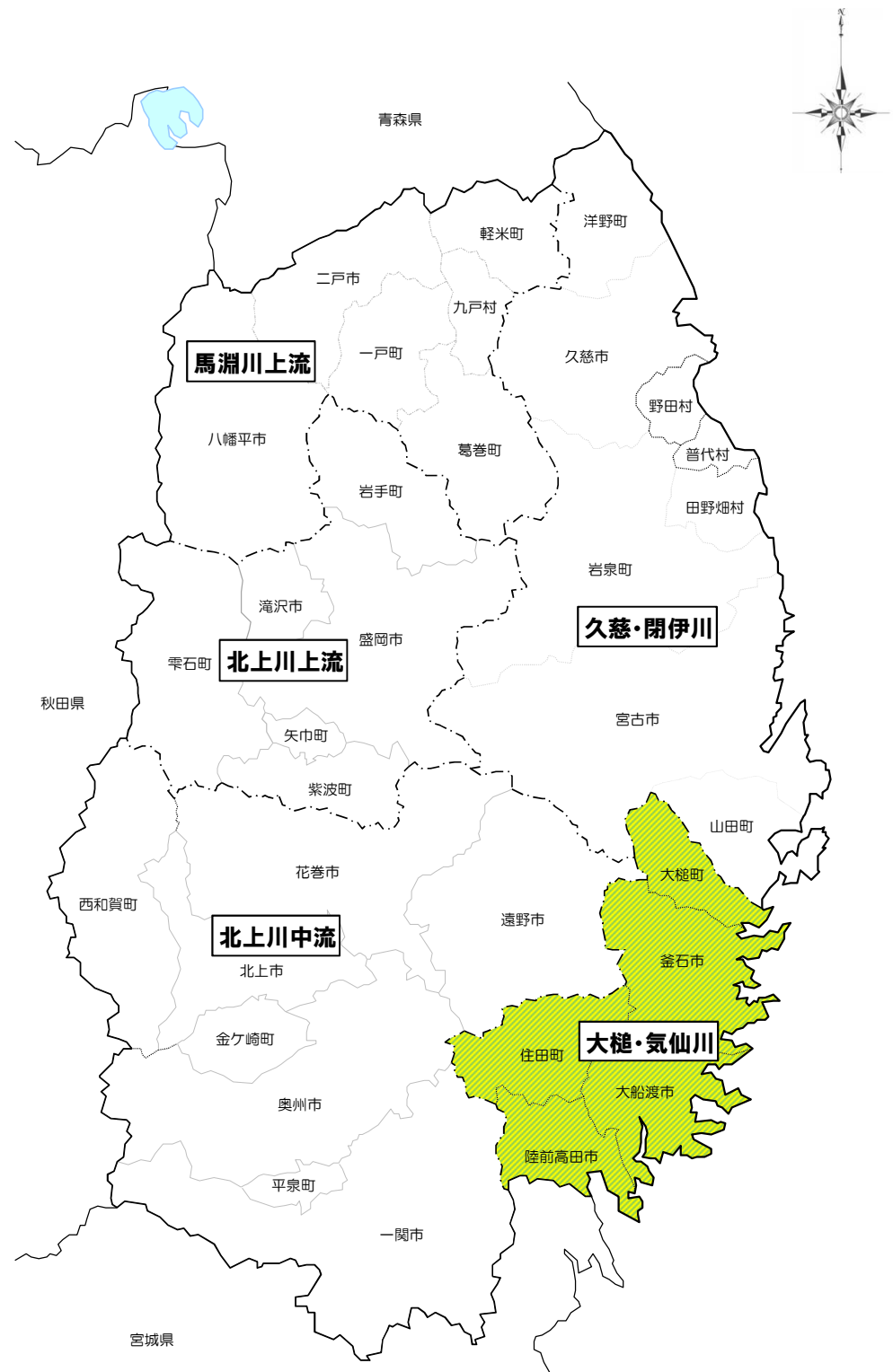
（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,948,392	
	流域貯水便益	785,246	
	水質浄化便益	3,219,813	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,534,277	
環境保全便益	炭素固定便益	559,763	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,953,247	
森林整備経費縮減便益	森林整備促進便益	471,581	
総 便 益 (B)		14,472,319	
総 費 用 (C)		3,240,104	
費用便益比	$B \div C = \frac{14,472,319}{3,240,104} = 4.47$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{14,890,447}{4,013,414} = 3.71$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{15,208,399}{4,606,047} = 3.30$		

森林環境保全整備事業 大槌・気仙川地区(岩手県)概要図



凡例	
	森林計画区界
	事業区域
	森林整備